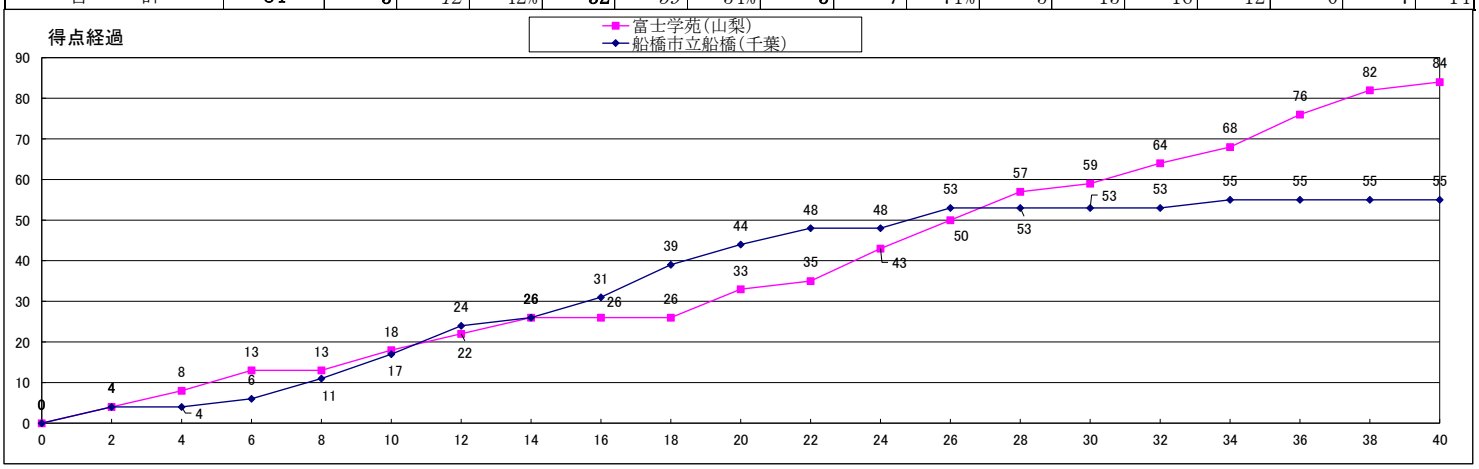
試合No.	D6	大会名	平成30年度　関東高等学校女子バスケットボール大会　兼　第72回関東高等学校女子バスケットボール選手権大会						
		期　日	平成30年 6月 9日(土)		会　場		とどろきアリーナ		
女子2回戦		主　審	武藤　陽子	副　審	穂川　苑子・赤川　沙耶				
		チーム名		1P	2P	3P	4P	延長	延長	合　計
		船橋市立船橋(千葉)		17	27	9	2			55
		富士学苑(山梨)		18	15	26	25			84

船橋市立船橋(千葉)

氏　名	スターター	NO	得点	3P 成功	3P 試投	3P AVG.	2P 成功	2P 試投	2P AVG.	フリースロー 成功	フリースロー 試投	フリースロー AVG.	リバウンド オフェンス	リバウンド ディフェンス	A	ST	BS	TO	F
浅岡　茉衣		4	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
廣　未稀穂		5	0	0	0		0	5	0%	0	0		1	0	0	0	0	0	1
根津　彩里菜(CAP)	*	6	19	3	7	43%	2	8	25%	6	7	86%	0	1	0	1	0	0	0
島田　莉音		7	0	0	0		0	0		0	0		1	0	0	0	0	0	0
笠木　陽衣		8	10	0	2	0%	4	7	57%	2	2	100%	0	2	1	1	0	1	1
吉田　優花		9	0	0	1	0%	0	1	0%	0	0		0	0	0	0	0	1	0
藤澤　栞		10	2	0	0		1	2	50%	0	0		0	0	0	0	0	0	1
幸野谷　優和	*	11	9	1	2	50%	3	7	43%	0	2	0%	0	0	2	1	1	0	1
高橋　奈瑞菜	*	12	6	0	3	0%	2	3	67%	2	2	100%	0	2	1	1	0	0	2
奥野　ほの香	*	13	7	0	0		3	5	60%	1	2	50%	1	0	0	0	0	0	2
小川　梨温		14	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
山﨑　音々奈	*	15	0	0	0		0	4	0%	0	0		4	5	0	1	0	0	0
西岡　汐里		16	0	0	0		0	0		0	0		0	2	0	0	0	0	0
衣鳩　弥世		17	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
牧野　心羽		18	2	0	0		1	2	50%	0	2	0%	1	0	0	1	0	0	0
コーチ　高松　淳史																			
合計			55	4	15	27%	16	44	36%	11	17	65%	8	12	4	6	1	2	8

富士学苑(山梨)

氏　名	スターター	NO	得点	3P 成功	3P 試投	3P AVG.	2P 成功	2P 試投	2P AVG.	フリースロー 成功	フリースロー 試投	フリースロー AVG.	リバウンド オフェンス	リバウンド ディフェンス	A	ST	BS	TO	F
堀内　杏花	*	4	0	0	0		0	2	0%	0	0		1	1	1	0	0	0	1
田中　遥		5	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	1
大嶋　星空	*	6	17	0	0		8	10	80%	1	2	50%	3	1	1	1	0	0	1
佐藤　桃子	*	7	20	0	0		9	13	69%	2	3	67%	0	6	4	2	0	3	1
山本　玲愛(CAP)	*	8	21	5	8	63%	3	16	19%	0	0		0	3	5	2	0	0	2
芳賀　保乃圭		9	12	0	0		5	7	71%	2	2	100%	0	1	1	2	0	0	2
渡辺　菜南		10	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	1	0	0	2
古屋　日菜		11	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
池谷　和実		12	0	0	0		0	1	0%	0	0		0	0	0	0	0	0	0
湯川　佑莉	*	13	10	0	1	0%	5	8	63%	0	0		1	0	2	2	0	4	3
須藤　茜		14	0	0	2	0%	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
瀧森　梨里亜		15	4	0	1	0%	2	2	100%	0	0		0	3	2	2	0	0	1
		16																	
		17																	
		18																	
コーチ　小野　利晴																			
合　計			84	5	12	42%	32	59	54%	5	7	71%	5	15	16	12	0	7	14



戦評

1Q　両チーム、ハーフのマンツーマンでスタート。互いに厳しいプレッシャーの中、少ないチャンスを点に結び付けてゆく。残り5分、富士学苑が速攻から好機をつかもうとペースを上げる。対する市立船橋はタイムアウトで仕切り直し、しぶとく食らいつく。決め手を欠く中、市立船橋＃6が3pts、バスケットカウントで追い上げるが、富士学苑＃7がゴール下を決め、18-17で富士学苑がリードして第1Q終了。

2Q　市立船橋が＃8、＃6を中心に得点するのに対し、富士学苑は＃7のドライブインや＃6のゴール下で応戦する。拮抗した試合展開の中、市立船橋がDFプレッシャーを強め、速攻で連続得点し、点差を徐々に広げ始める。富士学苑も交代で流れを変えようとするが、点差は縮まらず、44－33と市立船橋がリードして前半終了。

3Q　開始早々、富士学苑がリバウンド・パスカットから速攻に持ち込み、連続得点に成功する。市立船橋は悪い流れをタイムアウトで断ち切ろうとするが、富士学苑のランプレーについていく展開が続く。残り3分、富士学苑＃8の3ptsで逆転に成功し、その後も厳しいDFで逆転を許さず、59-53と富士学苑がリードして第3Q終了。

4Q　逆転を狙う市立船橋だが、富士学苑得意のランプレーを許してしまう。市立船橋は交代を織り交ぜ、DFプレッシャーを強めることで、自分たちの流れを作ろうとするが、リバウンド・ルーズボールの球際を富士学苑がことごとく制し、84-55で富士学苑が勝利し、Bブロック準決勝へと駒を進めた。